

【NEWS RELEASE】

2021年7月28日

各位

株式会社三井住友銀行

ソーシャルボンド（ショーグン私募債形式）および
サステナビリティボンド（ショーグン私募債形式）取扱開始について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、お客さまの ESG（※1）/ SDGs（※2）への取組サポートを目的として、国際資本市場協会（※3）が公表している「ソーシャルボンド原則」に基づき、本邦初となるソーシャルボンド（ショーグン私募債形式）の取扱を開始いたしました。また、国際資本市場協会が公表している「サステナビリティボンドガイドライン」に基づき、本邦初となるサステナビリティボンド（ショーグン私募債形式）の取扱を開始いたしました。本件は、2021年7月27日に公表した「SMBC Group GREEN Innovator」の活動・取組のもと、創出した取組となります。

三井住友銀行を含む SMBC グループは、2020年4月に公表したサステナビリティに関する長期計画「SMBC Group GREEN×GLOBE 2030」において、「2020年度から2029年度のグリーンファイナンス実行額10兆円」という目標を設定しておりましたが、2021年5月12日の公表の通り、対象を再定義した上で目標を上方修正いたしました。具体的には、「2020年度から2029年度のグリーンファイナンスおよびサステナビリティに資するファイナンス（※4）実行額30兆円（うちグリーンファイナンス20兆円）」といたしました。今後は、より一層、お客さまの環境問題解決への対応、社会課題解決への対応に向けたサポートに積極的に取り組んでまいります。

三井住友銀行は、サステナビリティ宣言に基づきお客さまをはじめとするステークホルダーとの対話を重ね、共に行動することにより、サステナビリティの実現に積極的に貢献してまいります。

（※1）ESG

ESGとは環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

（※2）SDGs

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。2030年までの世界の行動計画「アジェンダ2030」に含まれる17の目標として、2015年9月の国連総会にて193の国連加盟国により採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

(※3) 国際資本市場協会 (ICMA)

世界 60 か国以上の金融機関、法律事務所等を中心とした約 600 の会員からなる会員協会。持続可能な経済の成長と発展に必要な安定的な資金提供が行われるよう、国際債券市場の健全性を保ち、機能的な、世界を一貫できるクロスボーダー債券市場を促進することを目的として 1968 年に欧州にて設立されました。

(※4) サステナビリティに資するファイナンス

「サステナビリティに資するファイナンス」には企業のトランジションを資金使途とするファイナンスや社会事業を資金使途とするファイナンスを含みます。

以 上